



2019年10月7日  
株式会社ジーンテクノサイエンス  
住商ファーマインターナショナル株式会社

### 歯髄間葉系幹細胞の分譲に関する契約締結について

株式会社ジーンテクノサイエンス(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:谷 匡治、以下「GTS」といいます。)の子会社である株式会社セルテクノロジー(所在地:東京都中央区、代表取締役:谷 匡治、以下「セルテクノロジー」といいます。)及び住商ファーマインターナショナル株式会社(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:中村 健一、以下「SPI」といいます。)は、セルテクノロジーが製造するヒト歯髄間葉系幹細胞の分譲に関する契約を、今般締結致しましたのでお知らせします。

販売開始に向け現在準備を進めており、近日中に研究用の製品を供給開始致します。

間葉系幹細胞はこれまで骨髄、臍帯、脂肪等の組織由来のものが多く供給、使用されてきましたが、近年になり、歯の内部(歯髄)にも間葉系幹細胞が存在することが見いだされました。歯髄細胞は、ドナーの身体への負担やリスクが少ないため採取しやすく、増殖能力が高いため、短期間の培養で良質な幹細胞を数多く得ることができます。また、歯髄間葉系幹細胞は、他の間葉系幹細胞と同様に、分化能が高く、免疫原性が比較的低いなどの特性を有しています。これらの特長から、細胞・再生医療への応用をはじめとする種々の研究に使用できることが期待されています。

今般、セルテクノロジーとSPIが提携することにより、SPIが生物資源の分譲販売において長年にわたり蓄積してきた、コールドチェーン下での物流、販路を利用することで、セルテクノロジーが構築したプラットフォームで収集・調製・保管される歯髄間葉系幹細胞を、安定的かつ迅速に国内外の研究者に供給し、歯髄間葉系幹細胞を活用した新たな医療の研究・開発を加速してまいります。

GTSは、2018年度より新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。本契約は、GTSの再生医療事業の基盤となる歯髄間葉系幹細胞を活用した新たな治療方法創出の促進を目指すものであります。

SPIは、住友商事株式会社((所在地:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO:兵頭誠、以下「住友商事」といいます。))の100%子会社で、住友商事グループの中核事業会社として、

グローバルベースのネットワークを駆使し、創薬に関する研究機器や世界最大の研究用遺伝子・細胞バンクである米国 ATCC 等の生物資源の提供、国内外ベンチャー、製薬企業などの有望な医薬品(候補化合物)・基盤技術等のライセンス・共同研究の斡旋・仲介サービスの提供に始まり、医薬品原料・中間体・副資材の供給まで、医薬・医療分野において一貫した質の高い商品・サービスを提供しています。

**本件に関するお問い合わせ先**

株式会社ジーンテクノサイエンス  
Tel:03-6222-9547 Mail: [info@g-gts.com](mailto:info@g-gts.com)

住商ファーマインターナショナル株式会社  
Tel: 03-5220-1560 Mail: [alliance@summitpharma.co.jp](mailto:alliance@summitpharma.co.jp)